

SETOUCHI
TRIENNALE
2019

瀬戸内国際芸術祭2019県内連携事業

猪熊弦一郎展

Genichiro Inokuma

私の好きなもの

My Favorite Things

Part ① 2019.4.26^金_{Fri} - 7.13^土_{Sat} Part ② 2019.7.19^金_{Fri} - 9.8^日_{Sun}

四国村ギャラリー—Shikokumura Gallery



猪熊弦一郎展 私の好きなもの

Genichiro Inokuma My Favorite Things

猪熊弦一郎「青い服」1949年 ©The MIMOCA Foundation ●会期 Part ①にて展示



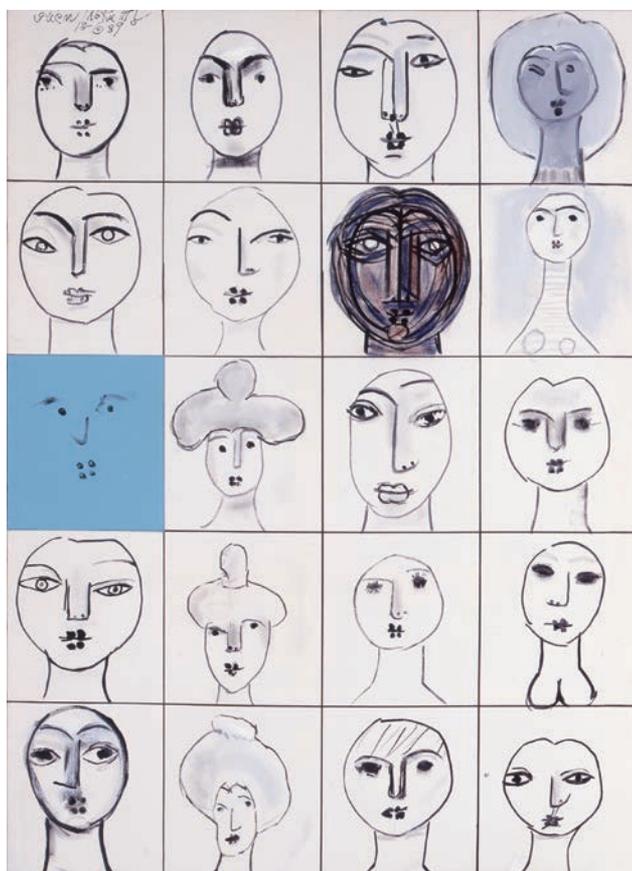
猪熊弦一郎は長い人生において、その表現スタイルを具象画から抽象画へと大きく変えていった画家です。さらに晩年になると抽象画の中に具体的なモチーフが再び現れるようになりました。しかし、どの時代のどの作品を取っても、そこには猪熊弦一郎らしさに満ち溢れているように感じられます。彼は常に好きなものの中に美を発見し、それをいろいろな手法で表現しようと模索していたからでしょう。個人的なコレクション、旅の思い出や、道端で拾ったものにさえ、猪熊弦一郎ならではの審美眼が表れているのです。「猪熊弦一郎展 私の好きなもの」では、会期をパート1とパート2のふたつにわけて作品を総入れ替え、制作年やジャンルなどを設けずにフラットに構成して、猪熊弦一郎という人物がそこに浮かび上がってくるように展示します。あなた自身の「私の好きなもの」に猪熊弦一郎その人や、彼の作品が加わることを願っています。

企画監修・岡本仁

●猪熊弦一郎プロフィール

(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ホームページより引用)

- 1902 __ 香川県高松市生まれ。少年時代を香川県で過ごす。
- 1921 __ 旧制丸亀中学校(現 香川県立丸亀高等学校)卒業。
- 1922 __ 東京美術学校(現 東京藝術大学)に進学。藤島武二教室で学ぶ。
- 1926 __ 帝国美術院第7回美術展覧会に初入選。以後、第10回、第14回で特選となるなど、1934年まで主に帝展を舞台に活躍する。
- 1936 __ 志を同じくする伊勢正義、内田巖、小磯良平、佐藤敬、三田康、中西利雄、脇田和、鈴木誠と新制作派協会(現 新制作協会)を結成。以後、発表の舞台とする。
- 1938 __ フランスに游学(1940年まで)。アンリ・マティスに学ぶ。
- 1948 __ 『小説新潮』の表紙絵を描く(1987年まで)。
- 1950 __ 三越の包装紙「華ひらく」をデザインする。
- 1951 __ 国鉄上野駅(現 JR東日本上野駅)の大壁画「自由」を制作。
- 1955 __ 再度パリでの勉強を目指し日本を発つが、途中滞在了たニューヨークに惹かれそのまま留まることとし、約20年間同地で制作する。
- 1973 __ 日本に一時帰国中、病に倒れる。
- 1975 __ ニューヨークのアトリエを引き払う。その後、冬の間をハワイで、その他の季節は東京で制作するようになる。
- 1989 __ 丸亀市へ作品1000点を寄贈。
- 1991 __ 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。
- 1992 __ 所有するすべての作品などを丸亀市に寄贈する趣旨の文書提出。以降、順次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館に搬入。
- 1993 __ 東京にて死去。90歳。



猪熊弦一郎「顔 20D」1989年 ©The MIMOCA Foundation ●会期 Part ②にて展示

●ギャラリートーク

本展の企画監修者・岡本仁が猪熊弦一郎と彼の作品の魅力について解説します。

- 日時：2019年5月5日、6日 各日11:00～、13:30～の2回(いずれも約30分)
- 参加料：無料(ただし四国村入村料が必要です)
- 事前参加申込み不要。四国村ギャラリー展示室にお集まりください。

【観覧時間】 9:00-17:00 (入館は16:30まで) ※四国村の開村時間は8:30-18:00(入村は17:00まで)
※5月5日(日)・7月20日(土)は9:00-16:00(入館は15:30まで)

【入村料】 一般 1,000円 / 高校生 600円 / 小中学生 400円

瀬戸内国際芸術祭2019会期中は、作品鑑賞バスポート提示で入村料半額。
障がい者手帳をお持ちの方および付添1名は半額。割引の併用はできません。

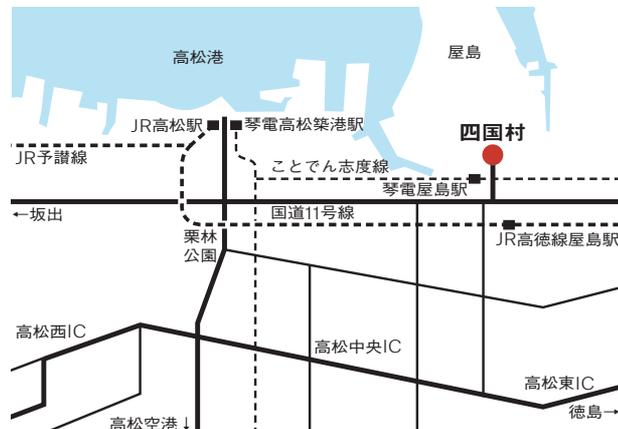
公益財団法人四国家家博物館内 四国村ギャラリー

お問い合わせ Tel:087-843-3111(代)

ホームページ <https://www.shikokumura.or.jp>

主催：公益財団法人四国家家博物館
協力：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
カトーレック株式会社
後援：香川県、高松市

SETOUCHI
TRIENNALE
2019



〒761-0112 香川県高松市屋島中町91

JR高徳線「屋島駅」下車 徒歩10分 / ことでん志度線「琴電屋島駅」下車 徒歩5分